

Ma ZhuoWei さん

帯広畜産大学D3
Ally 3期生



Maさんは、現在どんな研究を行っていますか？

トルコにおけるマダニ媒介原虫病の分子疫学調査の研究に従事しています。

Ally courseに参加しようと思ったのはなぜですか？

私の研究はマダニ媒介性の寄生虫や細菌の分子疫学的研究、及び人獣共通感染症を引き起こす寄生虫の検出に関するものです。Ally courseでは「One Health」という理念を教えており、それは人間と動物、そして環境を一体と捉え、様々な学問分野が連携する教育プログラムです。異分野の知識を学びたいという理由で、このコースを選びました。

Ally courseでいままで最も印象に残った体験、講義、出来事は何ですか？

最も印象に残っているのは、タイでのモジュール4の実習です。この実習を通じて、私は非常に多くの貴重な経験を積むことができ、環境と腸内寄生虫の関係についてより深く理解することができました。さらに、「One health」に関する理解も深めることができ、貴重な実習でした。



Ally courseを受講したことは、今後の研究にどのように役立つとお考えですか？

Ally courseを受講した経験は、私の今後の研究に大いに役立つと考えています。特に、異分野間の連携の重要性を学び、これが疫学的なアプローチや病気の予防戦略を考えるうえで、どのように統合的な視点を持つことができるかの理解を深めました。

趣味は広範にわたりますが、現在はポケモンカードゲームとウクレレに特に夢中です！

研究以外の趣味や、休みの時などによくしている活動はありますか？

これからAlly course参加を考えている学生に何かアドバイスをお願いします。

異なる分野や文化の視点を持つ意見に対してオープンであることは重要です。様々な視点から得られる知識や経験が、研究や将来のキャリアにとって大きな価値をもたらすでしょう。

Maさん、インタビューありがとうございました!!
これからも研究に、ウクレレに、ますますご活躍されることを楽しみにしています!!

